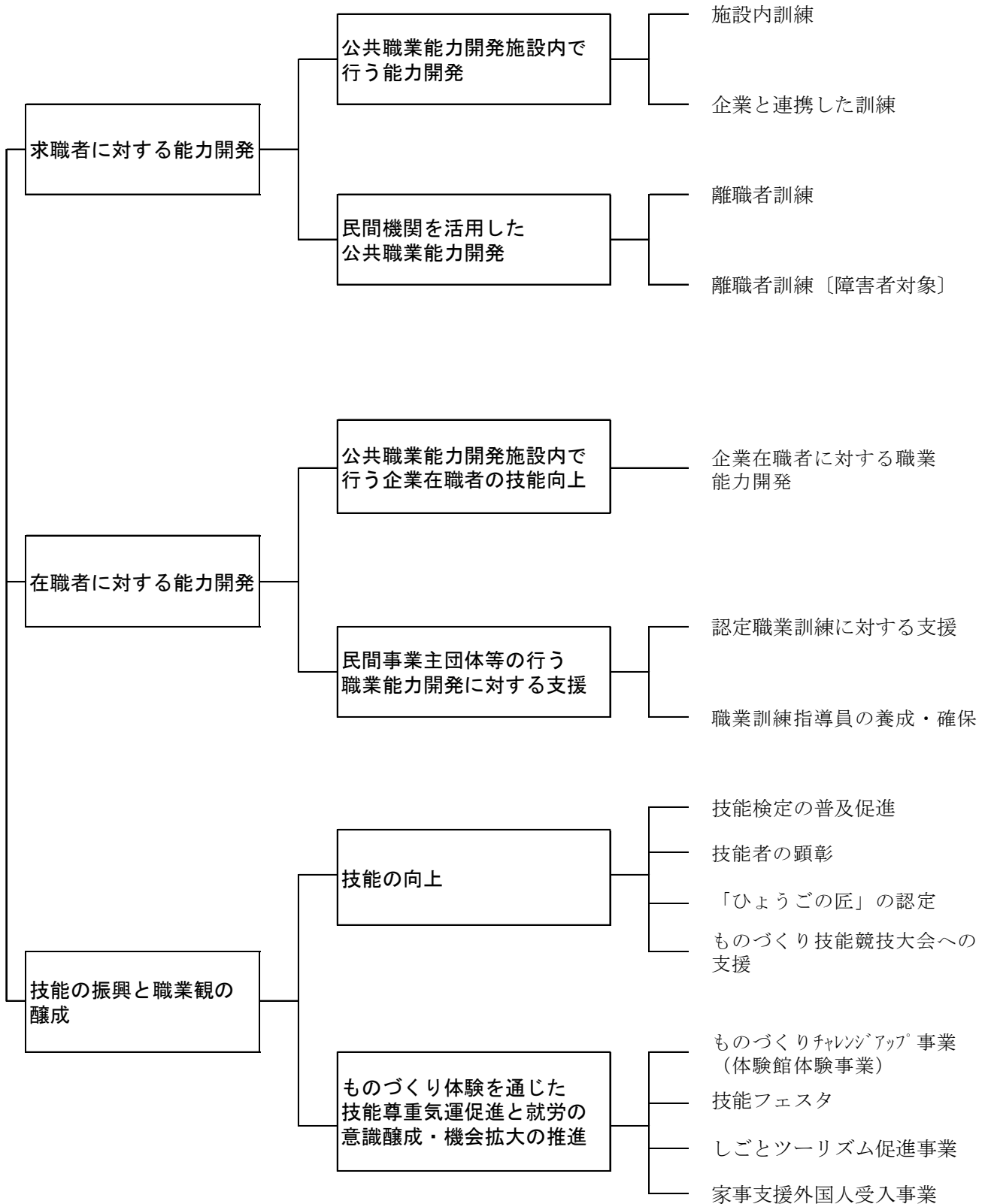


職業能力開発の推進について

	ページ
令和4年度 職業能力開発の施策体系	2
I 兵庫県職業能力開発計画に基づく施策の推進	3
1 第11次兵庫県職業能力開発計画による施策の推進	3
II 求職者に対する能力開発	3
1 公共職業能力開発施設内で行う能力開発	4
2 民間機関を活用した公共職業能力開発	7
III 在職者に対する能力開発	9
1 公共職業能力開発施設内で行う企業在職者の技能向上	9
2 民間事業主団体等の行う職業能力開発に対する支援	11
IV 技能の振興と職業観の醸成	12
1 技能の向上	12
2 ものづくり体験を通じた技能尊重気運促進と 就労の意識醸成・機会拡大の推進	15

令和4年度 職業能力開発の施策体系



I 兵庫県職業能力開発計画に基づく施策の推進

1 第11次兵庫県職業能力開発計画による施策の推進

職業能力開発促進法の規定により、国の職業能力開発基本計画に基づき策定した「第11次兵庫県職業能力開発計画」（令和3年度～7年度）に定めた基本的方向に沿って施策を推進する。

〈第11次計画における職業能力開発施策の基本的方向〉

- 1 ポストコロナ社会を支える求人・求職者ニーズへの対応
- 2 長期化する職業人生におけるキャリア形成の支援
- 3 全員活躍社会の実現に向けた多様な働き方の推進
- 4 技能者の社会的地位の向上や技能継承への支援など技能振興の推進
- 5 公共職業能力開発施設における取組の充実

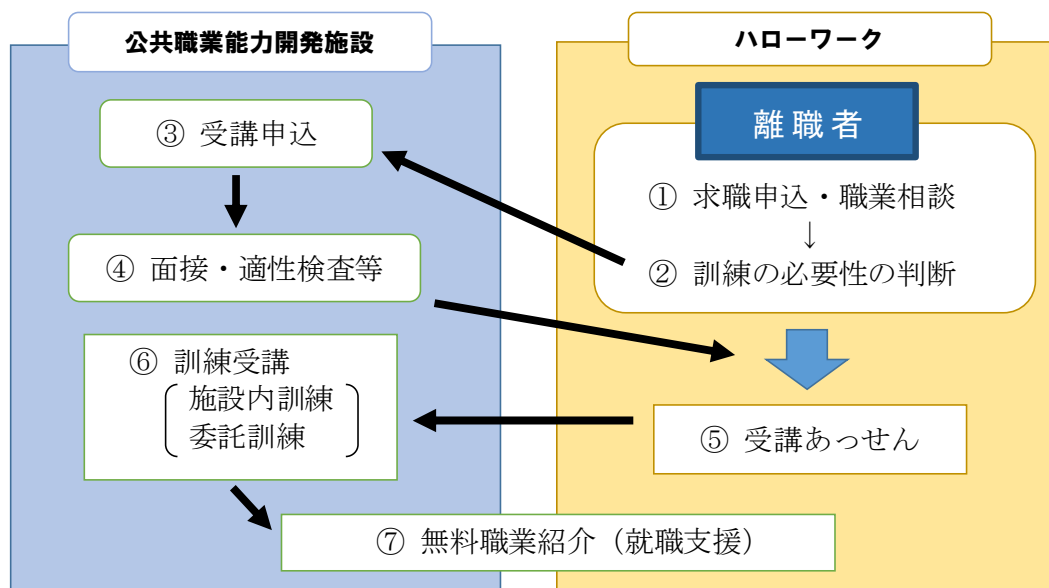
II 求職者に対する能力開発

離転職者や新規学卒者などの求職者の就業支援のため、訓練ニーズに応じた公共職業能力開発施設における施設内訓練及び民間機関を活用した委託訓練を実施する。

また、障害者に対しては、障害特性やニーズにきめ細かに配慮した訓練を実施する。

【公共職業能力開発施設での受講の流れ】

ハローワークの求職者で、職業相談等を通じて受講が必要であると公共職業安定所長が判断した者が、ハローワークから受講あっせんを受け、訓練を受講



※ 学卒者は公共職業能力開発施設へ直接申込

1 公共職業能力開発施設内で行う能力開発

県では、職業能力開発促進法に基づき、公共職業能力開発施設5校を拠点として、雇用のセーフティネットとしての役割を担うとともに、それぞれの地域における求人・求職ニーズに合わせた職業能力の開発を推進する。

なお、第11次職業能力開発計画策定及び職業能力開発促進法改正を踏まえ、地域及び産業界のニーズに対応した職業訓練をよりの確に実施するため、公共職業能力開発施設のあり方検討を行う。

一般校	ものづくり大学校（姫路市）
	但馬技術大学校（豊岡市）
	神戸高等技術専門学院（神戸市西区）
障害者校	障害者高等技術専門学院（神戸市西区）
	兵庫障害者職業能力開発校（伊丹市）※国立県営

(1) 施設内訓練

【令和4年度予算 382,920千円】

施設内訓練は、大規模な設備や専門的な指導体制のもと、ものづくり技能等民間では実施が困難な分野や、きめ細かな対応を必要とする障害者コースを実施する。

【実施状況（一般校）】※令和4年6月末現在

（単位：人）

施設名	科目名	訓練期間	募集定員			応募者			入校者			修了者		就職率	
			R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R2	R3
ものづくり大学校	住宅設備コース	1年	15	15	15	19	16	17	16	15	14	11	14	100%	86%
	木造建築コース	1年	15	15	15	14	10	18	12	8	15	12	7	100%	71%
	機械加工コース	1年	15	15	15	14	14	2	13	11	2	13	10	69%	90%
	機械製図・工作コース (CAD/CAM)	1年	10	10	10	11	9	4	9	8	4	9	8	89%	100%
	溶接コース	1年	15	15	15	7	11	11	7	8	8	7	8	100%	100%
	金属塗装コース	1年	15	15	15	13	8	8	13	8	8	12	5	83%	80%
	ものづくり複合コース	1年	10	10	10	6	8	10	6	7	7	1	4	100%	100%
	CADコース	4月開講 6か月	20	20	20	20	17	21	18	17	17	17	15	77%	80%
		10月開講 6か月	20	20	-	27	23	-	20	20	-	20	20	80%	75%
計		135	135	115	131	116	91	114	102	75	102	91	85%	85%	
但馬技術 大学校	自動車工学科	2年	20	20	20	13	18	23	12	16	19	11	8	100%	100%
	建築工学科	2年	20	20	20	13	16	14	13	14	10	13	18	100%	94%
	機械工学科	2年	20	20	20	18	15	6	14	12	5	9	13	100%	100%
	総合ビジネス学科	1年	20	20	20	14	23	15	11	18	12	8	14	100%	100%
	計		80	80	80	58	72	58	50	60	46	41	53	100%	98%
神戸高等技術 専門学院	CAD/CAM加工コース	1年	15	15	15	19	10	8	15	8	8	13	7	85%	100%
	電気制御コース	1年	15	15	15	18	14	15	15	12	13	13	10	62%	60%
	印刷総合技術コース	1年	15	15	15	16	14	16	14	13	15	14	12	93%	92%
	インテリアリフォームコース	1年	15	15	15	17	19	23	15	15	15	15	15	80%	93%
	福祉調理コース	4月開講 6か月	20	20	20	23	28	15	20	20	12	20	15	95%	93%
		10月開講 6か月	20	20	-	28	24	-	20	19	-	18	17	100%	88%
	総合ビジネスコース	1年	20	20	20	31	31	25	20	19	19	18	19	100%	100%
計		120	120	100	152	140	102	119	106	82	111	95	89%	91%	
一般校計		335	335	295	341	328	251	283	268	203	254	239	89%	90%	

【実施状況(障害者校)】※ 令和4年6月末現在

(単位:人)

施設名	科目名	訓練期間	募集定員			応募者			入校者			修了者		就職率	
			R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R2	R3
技術 障害者 専門 学院 高等	ものづくり科	1年	10	10	10	8	8	4	4	7	3	3	5	33%	60%
	ビジネス事務科	1年	10	10	10	12	12	11	9	10	8	7	9	71%	78%
	情報サービス科	1年	10	10	10	10	9	7	7	5	5	6	3	50%	67%
	総合実務科	1年	15	15	15	21	23	20	15	15	15	14	13	86%	92%
	計		45	45	45	51	52	42	35	37	31	30	30	70%	80%
職業 能力 障害 者 校	OA事務科	1年	20	20	20	29	22	15	20	13	11	19	11	63%	82%
	キャリア実務科	1年	15	15	15	11	25	22	11	13	13	9	12	100%	92%
	インテリアCAD科	1年	15	15	15	21	18	12	15	14	10	13	13	85%	46%
	総合実務科	1年	15	15	15	25	22	22	15	15	13	15	13	87%	92%
	ビジネス実務科	4月開講 6か月	5	5	5	7	6	5	5	5	5	5	3	100%	100%
		10月開講 6か月	5	5	-	6	4	-	5	4	-	5	4	80%	75%
計		75	75	70	99	97	76	71	64	52	66	56	82%	79%	
障害者校計			120	120	115	150	149	118	106	101	83	96	86	78%	79%

【参考：離職者施設内訓練就職率等の状況】

区分	兵庫県			全国			差引		
	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2
就職率	86.9%	83.9%	83.0%	84.7%	80.5%	80.8%	+2.2%	+3.4%	+2.2%
有効求人倍率(倍)	1.45	1.38	0.97	1.61	1.60	1.18	-0.16	-0.22	-0.21



内装施工実習
(神戸高等技術専門学院：インテリアリフォームコース)



自動車のエンジン組み立て作業
(但馬技術大学校：自動車工学科)

(2) 企業と連携した訓練

ア 公共職業訓練インターンシップ事業の実施

公共職業能力開発施設内の訓練カリキュラムに、1週間程度のインターンシップを導入し、実際の現場で、熟練技能者の指導により実践力の向上を図る。

【実施状況】※ 令和4年6月末実績

(単位：人・社)

施設名	学科名	R2年度		R3年度	
		実人数	受入企業数	実人数	受入企業数
ものづくり大学校	木造建築コース	12	12	8	8
但馬技術大学校	建築工学科	13	10	9	8
	機械工学科	13	8	12	7
神戸高等技術専門学院	福祉調理コース	0	0	18	6
障害者高等技術専門学院	ビジネス事務科	0	0	1	1
	情報サービス科	1	1	1	1
	総合実務科	15	10	12	16
兵庫障害者職業能力開発校	OA事務科	3	1	4	4
	キャリア実務科	1	1	14	10
	インテリアCAD科	4	4	2	1
	総合実務科	21	15	19	11
	ビジネス実務科	5	5	1	1
合計		88	67	101	74



木造建築現場実習
(但馬技術大学校：建築工学科)



スーパーでの商品陳列
(兵庫障害者職業能力開発校：総合実務科)

イ 熟練技能者等の外部講師導入

より実践的な教育訓練を行うため、「ひょうごの匠」や「1級技能士」など長年にわたる現場経験を持ち、高度な熟練技能を有する職人や企業の技術者を外部講師として積極的に活用する。

ウ 民間企業との連携による先端高度加工機械を活用した人材育成事業

工作機械メーカーであるDMG森精機(株)から、ものづくり大学校に無償貸与された最新工作機械を活用し、職業訓練の実施や中小企業等の加工技能の高度化を支援する。



先端高度加工機械



機械加工における工程集約訓練

2 民間機関を活用した公共職業能力開発

多様な訓練ニーズに迅速かつ効果的に対応するため、専修学校等の民間機関を活用し、求職者の特性に応じたコースを実施する。

(1) 離職者訓練

【令和4年度予算 1,888,947千円】

人手不足が著しい介護・福祉分野、求職者ニーズの高いIT、事務・経理分野等において、概ね3か月等の短期間を中心に多様な委託訓練を実施する。

【分野別実施状況】 ※令和4年6月末現在

(単位：人)

分野	区分	コース数 (※1)	募集定員	応募者	入校者	修了者	就職率 (※2)
介護・福祉関連	R2	49(14)	580	512	398	336	86.6%
	R3	54(16)	519	547	412	396	76.0%
	R4	34(16)	173	182	137	13	7.7%
I T	R2	91(6)	1,425	2,135	1,187	1,047	79.2%
	R3	99(13)	1,435	1,803	1,150	1,071	74.3%
	R4	40(13)	460	649	382	79	19.0%
経理・事務	R2	51(3)	800	752	548	470	72.1%
	R3	56(7)	845	810	608	599	76.0%
	R4	17(5)	197	266	170	82	35.4%
資格取得・その他	R2	21(3)	285	263	213	174	71.3%
	R3	21(3)	250	238	177	162	67.9%
	R4	12(4)	99	105	68	14	7.1%
計	R2	212(26)	3,090	3,662	2,346	2,027	78.1%
	R3	230(39)	3,049	3,398	2,347	2,228	74.6%
	R4	103(38)	929	1,202	757	188	24.5%

※1 () は前年度から継続のコース数を内数で記載

※2 修了者・就職率は、前年度に開講し、当該年度中に終了したコースを含む

(2) 離職者訓練〔障害者対象〕

【令和4年度予算 80,876千円】

社会福祉法人、NPO法人、特例子会社等の民間教育訓練機関を活用し、障害者の特性に応じた多様な委託訓練を実施する。

【コース種別】

ア 知識・技能習得訓練コース

民間教育訓練機関等を委託先とし、就職に必要な知識や技能の習得を目的とした訓練を実施する。（科目例：パソコン基礎、ホームページ作成等）

イ 実践能力習得訓練コース

企業、特例子会社等を委託先とし、事業所の現場を活用（事業主等が実際に実施している業務に関する作業実習を中心に）した実践的な職業能力の開発・向上を目的とした訓練を実施する。（科目例：食品流通）

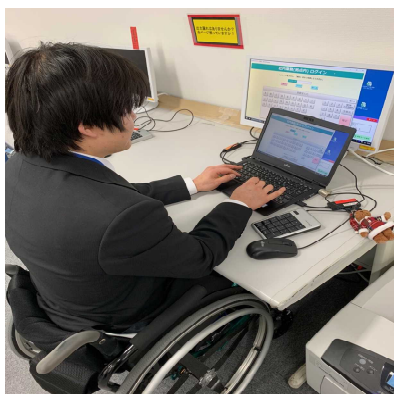
ウ eラーニングコース

通所が困難な重度障害者等を対象として、在宅でインターネット環境を活用したIT技能等の習得訓練を実施する。（科目例：在宅ワーク就労訓練）

【分野別実施状況】※ 令和4年6月末現在

（単位：人）

分野	区分	コース数	募集定員	応募者	入校者	修了者	就職率
知識・技能習得訓練	R2	23	124	94	69	61	34.4%
	R3	15	65	85	54	47	29.8%
	R4	8	20	19	9	7	0.0%
実践能力習得訓練 (知的障害者特別委託訓練含む)	R2	1	15	16	12	11	100.0%
	R3	1	15	24	15	15	100.0%
	R4	1	15	21	10	-	-
eラーニング	R2	4	14	18	9	6	16.7%
	R3	6	24	16	14	13	38.5%
	R4	1	5	1	1	-	-
計	R2	28	153	128	90	78	42.3%
	R3	22	104	125	83	75	45.3%
	R4	10	40	41	20	7	0.0%



文書作成や表計算の実習
(知識・技能習得訓練コース)



たまねぎの袋詰め作業
(実践能力習得訓練コース)

Ⅲ 在職者に対する能力開発

企業在職者を対象に、業務に必要な知識やより高度な技能の習得、資格取得などを支援するため、公共職業能力開発施設での短期講座の実施や、民間事業主団体等の行う能力開発を支援する。

1 公共職業能力開発施設内で行う企業在職者等の技能向上

(1) 企業在職者に対する職業能力開発

【令和4年度予算 9,969千円】

技能向上のための取り組みが単独では人的・設備的に困難な中小企業等のニーズを踏まえ、公共職業能力開発施設において、企業の在職者を対象に、各種資格取得やものづくり技能の習得のための職業訓練を実施する。

ア ものづくり技能基礎講座

ものづくり大学校、但馬技術大学校及び神戸高等技術専門学院において、主にものづくり企業における入社1～2年目までの新入社員を対象とした基礎技能の習得講座を実施する。



溶接入門コース
(ものづくり技能基礎講座)

※ 令和4年度6月末現在の年間予定数および実績 (単位:人)

コース	内 容	期間 (日)	R2 年度		R3 年度		R4 年度	
			定員	修了者	定員	修了者	定員	修了者
溶接入門	溶接の基礎知識・機器取扱等を習得	2	0	0	5	5	5	5
旋盤入門	NC 旋盤の基本プログラミングと加工技術等を習得	3～4	35	20	30	15	45	13
CAD/CAM	2次元・3次元CAD/CAM操作の知識・技術等を習得	3～6	60	35	50	27	60	10
その他	機械製図と電気の基礎講座 他	2～5	60	37	75	42	108	27
計			155	92	160	89	218	55

イ ものづくり技能応用講座

ものづくり大学校、但馬技術大学校及び神戸高等技術専門学院において、中小企業等の中堅・若手技能者を対象とした熟練技能の継承を目指した講座を実施する。



AI/IoTコース
(ものづくり技能応用講座)

※ 令和4年度6月末現在の年間予定数および実績

(単位:人)

コース	内 容	期間 (日)	R2年度		R3年度		R4年度	
			定員	修了者	定員	修了者	定員	修了者
TIG溶接	溶接技能者評価試験に合格できる知識・技能を習得	2	10	8	5	5	10	4
CAD/CAM	2次元・3次元 CAD 操作の実践的な技術を習得	3	15	9	20	15	20	0
AI・IoT	ビッグデータ、IoT等の最先端技術を習得	2	20	17	40	26	60	0
その他	シーケンス制御・プログラミングコース、建築コース等	2~18	48	33	56	35	94	4
計			93	67	121	81	184	8

ウ 資格試験対策講座、技能向上講座

ものづくり大学校、但馬技術大学校及び神戸高等技術専門学院において、中小企業等のニーズの高い、資格がなければ業務に従事できない分野について、民間企業と連携し、作業従事者や作業主任者に対して資格取得に向けた訓練等を実施する。



クレーンコース
(資格試験対策講座)

※ 令和4年度6月末現在の年間予定数および実績

(単位:人)

コース	内 容	期間 (日)	R2年度		R3年度		R4年度	
			定員	修了者	定員	修了者	定員	修了者
アーク溶接	アーク溶接作業従事のための資格取得	3	280	118	210	152	270	39
クレーン	5t未満クレーン作業従事のための資格取得	2	200	192	270	268	360	62
ガス溶接	ガス溶接作業従事のための資格取得	2	350	163	245	150	320	37
玉掛け	玉掛け作業従事のための資格取得	3	200	118	190	134	200	28
フォークリフト	フォークリフト作業従事のための資格取得	4	200	109	190	127	200	26
建築	建築作業主任者の資格習得	2	70	27	40	7	100	0
小 計			1,300	727	1,145	838	1,450	192
技能検定	技能検定準備講座	2~3	0	0	55	23	95	0
小 計			0	0	55	23	95	0
計			1,300	727	1,200	861	1,545	192

2 民間事業主団体の行う職業能力開発に対する支援

民間事業主団体等が労働者に対して行う職業能力開発を支援する。

(1) 認定職業訓練に対する支援

【令和4年度予算 21,644千円】

ア 職業訓練の認定

民間事業主団体等の行う職業訓練の内容の充実を図り、計画的かつ体系的な実施と普及を促進するため、厚生労働省令の基準に適合する職業訓練コースを認定する。

※ 令和4年6月末現在

区 分	R2年度	R3年度	R4年度
事業所・団体数	37	38	38
コース数	135	146	144

イ 認定職業訓練に対する補助金の交付

職業訓練法人や中小企業事業主等が実施する認定職業訓練に対して、運営費を補助する。

【主な補助対象先】

※ 令和4年度は6月末現在の年間予定数

団体名	科目	R2年度		R3年度		R4年度	
		コース	人	コース	人	コース	人
近畿建設技能研修協会	土木科等	23	438	26	706	30	810
北はりま職業訓練協会	織布科、介護科等	36	180	32	280	35	360
丹波職業訓練協会	経理事務科等	6	10	4	8	6	35
その他	溶接科、かわらぶき科等	21	145	32	232	41	1,026
計	事業所・団体数	12		17		19	
	コース数	86		94		112	
	訓練人数	773		1,226		2,231	

(2) 職業訓練指導員の養成・確保

【令和4年度予算 292千円】

職業能力開発促進法に基づき、指導員講習を修了した者や職業訓練指導員試験に合格した者等に対して職業訓練指導員の免許証を交付することにより、企業での事業内訓練指導員等の養成・確保を図る。

【交付実績】

※ 令和4年6月末現在

(単位:件)

区 分	R2年度	R3年度	R4年度
免許交付数	60	111	10

IV 技能の振興と職業観の醸成

熟練技能の維持継承が課題とされる中、技能者に対する評価の確立や技能継承の促進、若年労働者に対する職業能力開発を進めるなど、技能尊重気運の醸成を図る。

また、次代を担う青少年のものづくりへの関心や職業意識を醸成するため、ものづくり体験事業に取り組む。

1 技能の向上

(1) 技能検定の普及促進

【令和4年度予算 56,505千円】

技能に対する社会の評価を高め、労働者の技能と地位の向上を図るため、兵庫県職業能力開発協会と連携して技能検定を実施し、合格者に国家資格「技能士」の称号を与える。



技能検定実技試験（築炉）

【技能検定の実施状況】

区 分	R2年度 ※			R3年度			R4年度 (6月末時点)			
	受 検 申請者 人	合格者 人	合格率 %	受 検 申請者 人	合格者 人	合格率 %	受 検 申請者 人	合格者 人	合格率 %	
特 級	301	61	20.3	302	103	34.1	-			
1 級	646	286	44.3	1,993	947	47.5	1,242			
2 級	984	485	49.3	2,534	1,360	53.7	1,367			
3 級	730	478	65.5	1,250	772	61.8	451			
単一等級	15	6	40.0	114	48	42.1	25			
小 計	2,676	1,316	49.2	6,193	3,230	52.2	3,085			
技能 実習生 対象 (随時 実施)	随時2級	425	8	1.9	534	6	1.1	104	0	0
	うち実技	421	314	74.6	528	389	73.7	101	65	64.4
	随時3級	2,614	674	25.8	2,969	701	23.6	754	172	22.8
	うち実技	2,547	2,473	97.1	2,891	2,780	96.2	716	693	96.8
	基礎級	2,397	2,315	96.6	1,134	1,085	95.7	2	2	100
うち実技	2,339	2,317	99.1	1,106	1,086	98.2	2	2	100	
小 計	5,436	2,997	55.1	4,637	1,792	38.6	860	174	20.2	
合 計	8,112	4,313	53.2	10,830	5,022	46.4	3,945		試験実施中	

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため前期試験が中止

《参考》 若者の技能検定受検の促進

「ものづくり分野」を支える人材の確保・育成を図るため、実技試験受検料の一部を減免し、若者が受検しやすい環境を整備する。(H29年度後期試験～)

【2級及び3級実技試験受検料】

(単位：円)

区 分	一般	在校生※	うち25歳未満の在職者		
			一般	在校生※	
実技 試験	機械加工, 建築大工等(104職種)	18,200	12,100	9,200	3,100
	機械検査, 婦人子供服(2職種)	15,100	10,100	6,100	2,900
	和裁, 電気製図等(4職種)	13,300	8,900	4,300	2,900

※ 在校生は、高校・大学・職業訓練校等の在校生で3級を受検する者

(2) 技能者の顕彰 【令和4年度予算 635千円】

広く社会一般に技能尊重の気運を高め、労働者の地位及び技能水準の向上を図るため、優れた技能者を表彰する。



兵庫県技能顕功賞表彰式

【知事表彰】

(単位：人)

区分	兵庫県技能顕功賞		兵庫県青年優秀技能者表彰	
概要	極めて優れた技能を有し、兵庫県の産業の発展に功績のあった技能者を表彰		優れた技能をもって顕著な功績を収め、将来を嘱望される青年技能者を表彰	
対象者	35歳以上の技能者 実務経験15年以上		35歳未満の技能者 実務経験7年以上	
表彰者数	R1年度	163	R1年度	36
	R2年度	126	R2年度	38
	R3年度	125	R3年度	39

《参考》 厚生労働大臣表彰（卓越した技能者の表彰）

卓越した技能を持ち、その道の第一人者と目されている技能者を厚生労働大臣が「現代の名工」として表彰する。（全国で約150人）

(単位：人)

区分	R1年度	R2年度	R3年度
兵庫県内の受賞者	6	7	12

(3) 「ひょうごの匠」の認定

【令和4年度予算 23千円】

技能に対する県民の関心を高め、技能の伝承及び後継者の育成を図るため、県内の優れた技能者の中で、技能伝承及び後継者育成に熱意を持つ者を「ひょうごの匠」として知事が認定する。

【登録者数】 405人（令和4年6月30日現在 ※令和4年度新規認定 13人）

【職種】 26職種

貴金属装身具製作、石工、印章彫刻、建築大工、広告美術仕上げ、写真、寝具、建具、表具、菓子製造、婦人子供服製造、和裁、紳士服製造、内装仕上げ施工、塗装、日本調理、左官、畳製作、ガラス施工、造園、金属塗装、建築板金、フラワー装飾、時計組立・修理、西洋調理、瓦葺き

(4) ものづくり技能競技大会への支援

【令和4年度予算 210千円】

ア 技能競技大会参加への支援

技能者の技能・知識及び社会的地位の向上に資するため、技能競技の全国大会に参加する選手を支援する。

【支援内容】

- ・ 県ユニフォームの贈呈、激励会の開催
- ・ 技能士団体への選手育成強化費支援
(材料費、講師謝金、会場費の1/2相当)
- ・ 大会と県出場選手の広報



技能五輪全国大会(日本料理)

【兵庫県参加者の状況】

(単位:人)

対象者	大会名(参加者数等)	R2年度	R3年度	R4年度
熟練技能者 (一級技能士)	全国技能グランプリ (28職種約350人) ※隔年開催	参加者:27 入賞者:17 (開催地:愛知県)	—	— ※R5に延期
青年技能者 (23歳以下)	技能五輪全国大会 (42職種約1,000人)	参加者:21 入賞者:6 (開催地:愛知県)	参加者:19 入賞者:7 (開催地:東京都)	R4.11開催予定 (開催地:千葉県)
障害者	全国障害者技能競技大会(アビリンピック) (25職種約370人)	参加者:6 入賞者:2 (開催地:愛知県)	参加者:5 入賞者:1 (開催地:東京都)	R4.11開催予定 (開催地:千葉県)

イ 「ものづくり兵庫」技能競技大会の開催

県内の幅広い業態や規模の異なる企業現場の技能者をはじめ、教育訓練機関や職業能力開発施設で学ぶ人々が切磋琢磨し、互いの技能を確かめ合い交流する機会として兵庫県職業能力開発協会と共催で競技大会を実施する。

【実施内容】

- 開催日:令和4年11月18日(金)
場所:ものづくり大学校
競技職種:旋盤、溶接、金属塗装、建築大工
対象者:実務経験3年未満の若年技能者(35歳まで)
募集人数:58人

2 ものづくり体験を通じた技能尊重気運促進と就労の意識醸成・機会拡大の推進

(1) ものづくりチャレンジアップ事業（ものづくり体験館事業）

【令和4年度予算 46,986千円】

ものづくり大学校「ものづくり体験館」において、小中学生および高校生に対し、本県産業の礎となるものづくりへの関心を高め、職業としてのものづくりの魅力、奥深さを伝えるとともに、技能者の後継育成に繋げるため、本格的なものづくり体験の機会と場を提供する。

ア ものづくり体験学習（中学生等が学年単位で利用：平日5時間程度）

匠の技やものづくり企業の製品を「見て学び、触って学ぶ」展示学習を実施した後に、各工作室に分かれて、ひょうごの匠やものづくり企業OB等の熟練技能者の指導を受けながら、本格的なものづくり体験を行う。

【ものづくり体験例】

錫の鑄造オブジェ、表札、フリーラック、ラジオ、音声認識ロボットカー、革のパスケース、フランス料理、建築模型、瓦葺き、時計の組立など

※ 令和4年度は6月末現在の年間予定数

年度	R2年度	R3年度	R4年度
参加校数（校）	73	68	86
参加人員（人）	8,679	7,275	10,791



フランス料理づくり



キャンドルスタンドづくり

イ ものづくり体験講座（個人単位又はグループ単位で利用）

大型連休や夏・冬休み期間等に小学生を主な対象とした親子工作教室などを開催する。木工・金工・電工等のプログラムに加えて、伝統的工芸品・地場産品に関するものなど、多彩な講座を実施する。

※ 令和4年6月末現在

年度	R2年度	R3年度	R4年度
講座数	34	52	2
参加人員（人）	275	395	98

(2) 技能フェスタ

【令和4年度予算 3,000千円】

技能尊重気運の醸成を図るため、親子を対象に多彩なものづくり体験イベント「技能フェスタ」を神戸市、兵庫県技能士会連合会、神戸市技能職団体連合会との共催により開催する。

【実施内容】

開催時期：令和4年10月29日（土）～10月30日（日）

場 所：神戸国際展示場3号館

内 容：技能体験(全35ブース)、製作実演、作品展示、即売等

参加団体：表具、建具、畳、左官、洋裁、日本調理等37団体・施設

入場者数：2,286人（令和3年度実績）



飾り額の製作体験（建具）



壁塗り体験（左官）

(3) しごとツーリズム促進事業

【令和4年度予算 5,625千円】

小中学生がしごとに対する理解を深め、職業意識を養うため、ものづくり体験や、しごとに関する校外学習を行う際に、バス借り上げ経費一台当たり25,000円を助成する。

【主な対象施設】

ものづくり体験館、カワサキワールド、キッズニア甲子園、アサヒ飲料明石工場、ヤクルト三木工場、エコパークあぼし、そうめんの里、立杭陶の郷、など

【実績】

※ 令和4年6月末現在

年度	実施団体数	助成台数（台）	参加者数（人）
R2年度	56	232	7,033
R3年度	49	176	5,989
R4年度	29	56	1,988

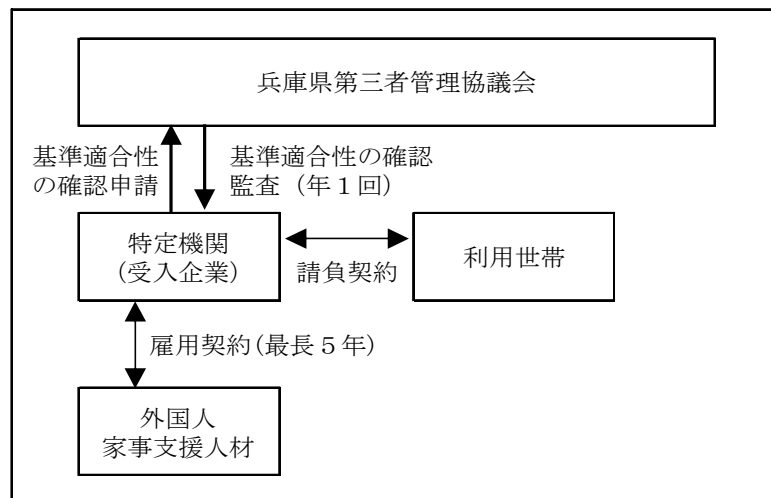
(4) 家事支援外国人受入事業

国家戦略特別区域法に基づき、出入国管理及び難民認定法の特例として家事支援を行う外国人を雇用し、サービスを提供することにより、家事負担を軽減し多様な人材の活躍を推進する。

ア 事業実施区域 兵庫県全域

イ サービス内容 家事全般（炊事、洗濯、掃除、買物等）

ウ 事業スキーム



※第三者管理協議会の構成

兵庫県（事務局）、内閣府地方創生推進事務局、近畿経済産業局、大阪出入国在留管理局神戸支局、兵庫労働局（順不同）

エ 活動状況

平成 30 年 3 月 2 社に基準適合通知書を交付（㈱ニチイ学館、㈱ベアーズ）

平成 30 年 11 月 2 社によるサービス提供開始

【従事者数】※ 令和 4 年 6 月末現在

区 分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
家事支援従事者数（人）	116	93	45	43

【家事支援活動状況】※ 令和 4 年 6 月末現在

区 分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
延べ利用回数（回）	2,882	4,832	4,796	1,041